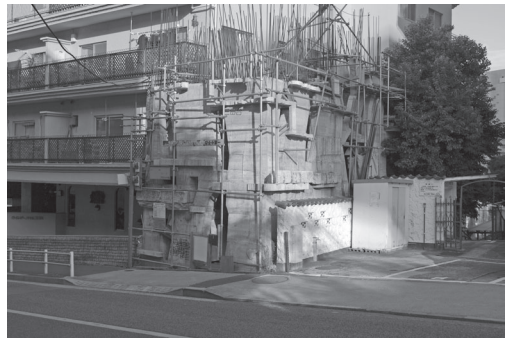


〈つくる〉と〈生きる〉の関係

くぞく ありますとんび
空族 × 中山英之 in 蟻鱗鳶丸



『窓の観察』（『建築と日常』別冊）刊行記念イベント第2弾では、3人の著者陣から建築家の中山英之さんにご登場いただき、映像制作集団「空族」の富田克也さん、相澤虎之助さんをお迎えます。中山さんは『窓の観察』掲載の「窓のあっちとこっち」において、世界を内部と外部とに分けざるをえない建築というものの根本的なあり方を問題にしました。その背景には、昨年の震災によって著しく顕在化した、できそこないの社会システムとどう向きあうかという問題意識があったのだと思います。そしてそれはまた、建築家として〈つくる〉ことと人間として〈生きる〉こととの関係のつけ方の問題だったかもしれません。

一方、昨年10月の公開以来、国内外で注目を集める空族の『サウダーズ』（富田さんの監督、相澤さんと富田さんの共同脚本）もまた、世界の内外を問題にした作品だったと言えるでしょう。山梨県甲府市を舞台にしつつも、「土方、移民、HIPHOP」をテーマとして日本の空洞化する地方都市を象徴的に描いた本作は、同時にその状況がグローバルな問題と地続きであることを直観させます。なにより驚かされるのは、そのような極めて現実的・社会的な問題が作り手において身体化され、作品として血の通った有機的統一をなしていることです。それは外からテーマを与えられてつくるのではない、空族の自主制作という手段でこそ可能な達成であり、だからこそ観る者の心を捉える力を持つのだと思います。そこでの〈つくる〉と〈生きる〉の融合は、ある種の作品の作り手に対してに限らず、現代社会を生きる人びとにとって、自らの生を省みさせるものに違いありません。『建築と日常』の読者で空族の作品をご覧になったことのない方は、なにはともあれまず映画館に足をお運びください。『サウダーズ』をはじめ、11月前半にもいくつか上映の予定があり（裏面）、そのチケットの半券で今回のイベント入場料の割引も行います。

さて、会場となる蟻鱗鳶丸は、建築家の岡啓輔さんが2005年から東京の都心でつくり続ける、鉄筋コンクリート造のセルフビルドの自邸です。まさに〈つくる〉と〈生きる〉が現在進行形で重なる、今回のイベントを行うのに相応しい空間であり、必然的に岡さんにもトークに参加していただくことになるでしょう。『窓の観察』を起点としながら、今ここでの〈つくる〉と〈生きる〉の関係について、実感をもって考える場にしたいと思っています。皆様のご来場をお待ちしています。

さて、会場となる蟻鱗鳶丸は、建築家の岡啓輔さんが2005年から東京の都心でつくり続ける、鉄筋コンクリート造のセルフビルドの自邸です。まさに〈つくる〉と〈生きる〉が現在進行形で重なる、今回のイベントを行うのに相応しい空間であり、必然的に岡さんにもトークに参加していただくことになるでしょう。『窓の観察』を起点としながら、今ここでの〈つくる〉と〈生きる〉の関係について、実感をもって考える場にしたいと思っています。皆様のご来場をお待ちしています。

出演：富田克也＋相澤虎之助（映画監督・脚本家／空族） <http://www.kuzoku.com/>
中山英之（建築家、『窓の観察』著者） <http://www.hideyukinakayama.com/>
岡啓輔（建築家、『蟻鱗鳶丸』施主兼設計施工者） <http://arimasutonbi.blogspot.jp/>
司会：長島明夫（『建築と日常』編集発行者） <http://kentikutonitijou.web.fc2.com/>
会場：蟻鱗鳶丸建設現場／東京都港区三田4-15（聖坂を登り切る手前の坂の途中）
※最寄り駅：JR 田町駅、都営地下鉄三田駅
日時：2012年11月25日（日）13:00-（12:45-受付開始）
※10:00開場、当日受付の整理券配布開始（若干数）。建物見学のみも可（無料）
入場料：1600円 ※各種割引あり（併用可）
割引①『窓の観察』持参 → 300円割引 ※当日会場でも販売いたします
割引②『建築と日常』No.2持参 → 300円割引 ※当日会場でも販売いたします
割引③裏面の空族関連作品上映をご覧になったチケット半券持参 → 各300円割引
割引④蟻鱗鳶丸1日建設作業手伝い → 要相談

定員：20名まで予約受付、それ以上は当日受付。当日、会場の状況を見て満員と判断した際には受付を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください

ご予約・お問い合わせ先：mado20121125@yahoo.co.jp ※11月9日（金）予約受付開始

注意事項：

- ◎会場は未完成の建設現場です。鉄筋がむき出しの箇所やハシゴの上り下りなどもありますので、当日はなるべく動きやすい服装（＋防寒）でお越しの上、会場内の見学や移動には十分お気を付けてください
- ◎トイレも未完成です。お手洗いはご来場前にお済ませください
- ◎多少の雨でも開催しますが、万一中止の場合は当日9:00までにメール、雑誌HP等でお知らせします
- ◎イベント後もこの場所での日常は続きます。近隣の迷惑にならないようご配慮をお願いします

チケット半券割引対象上映：

1) 『サウダーチ』公開一周年スペシャル／オーディトリウム渋谷 <http://a-shibuya.jp/>

●オールナイト『Playback』→『サウダーチ』

10月27日(土) 23:15- 開場 / 23:30- スタート (5:00 終了予定)

トーク：空族 [富田克也監督 & 相澤虎之助] × Playback チーム [三宅唱監督 & 松井宏]

●『サウダーチ』

11月3日(土)～4日(日) 13:55- / 17:20-

11月5日(月)～9日(金) 13:55-

●オールナイト『花物語バビロン』→『かたびら街』→『殊勲十字章』→『サウダーチ』

11月10日(土) 23:15- 開場 / 23:30- スタート (5:30 終了予定)

2) アップリンク <http://www.uplink.co.jp/movie>

●コラボ・モンスターズ!! 対 空族 KUZOKU 『love machine』→『かたびら街』

10月30日(火) Aプログラム 18:20- 開場 / 18:30- 開演

19:50- トークライブ「いま自主映画を上映すること」ゲスト：相澤虎之助

●『バビロン2 -THE OZAWA-』

11月10日(土)～23日(金) 21:00-

3) 爆音3D映画祭 / 吉祥寺パウスシアター <http://www.baustheater.com/>

●『国道20号線』×LFBライブ (Guest: 伊東篤宏)

11月13日(火) 20:15-22:15

『建築と日常』取扱店 (東京都内)：

●丸善 丸の内本店 / 千代田区丸の内 1-6-4 丸の内オアゾ 1～4F

●南洋堂書店 / 千代田区神田神保町 1-21

●東京国立近代美術館ミュージアムショップ / 千代田区北の丸公園 3-1

●LIXIL ブックギャラリー / 中央区京橋 3-6-18 LIXIL:GINZA 1F

●八重洲ブックセンター 本店 / 中央区八重洲 2-5-1

●TSUTAYA TOKYO ROPPONGI / 港区六本木 6-11-1 六本木ヒルズ六本木けやき坂通り

●Bookshop TOTO / 港区南青山 1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 2F

●eastendTOKYOBOOKS / 江東区三好 3-9-6

●NADiff contemporary / 江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館 1F

●NADiff a/p/a/r/t / 渋谷区恵比寿 1-18-4 1F

●代官山 蔦屋書店 / 渋谷区猿楽町 17-5

●バルコブックセンター 渋谷店 / 渋谷区宇田川町 15-1 渋谷バルコ part1 B1F

●SHIBUYA PUBLISHING & BOOKSELLERS / 渋谷区神山町 17-3

●NADiff modern / 渋谷区道玄坂 2-24-1 Bunkamura B1F

●MARUZEN& ジュンク堂書店 渋谷店 / 渋谷区道玄坂 2-24-1 東急百貨店本店 7F

●紀伊國屋書店 新宿南店 / 渋谷区千駄ヶ谷 5-24-2 タカシマヤタイムズスクエア

●B&B / 世田谷区北沢 2-12-4 第2 マツヤビル 2F

●gallery 5 / 新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 3F

●紀伊國屋書店 新宿本店 / 新宿区新宿 3-17-7

●ジュンク堂書店 池袋本店 / 豊島区南池袋 2-15-5

●リブロ 池袋本店 / 豊島区南池袋 1-28-1 西武池袋本店 書籍館・別館

●ジュンク堂書店 吉祥寺店 / 武蔵野市吉祥寺本町 1-11-5 コピス吉祥寺 6～7F

●百年 / 武蔵野市吉祥寺本町 2-2-10 村田ビル 2F

※その他ネット販売もあり。詳細はHPまで <http://kentikutonitijou.web.fc2.com/>



●別冊 **窓の観察**
A5 変型判 / カラー & モノクロ / 64 頁 / 900 円 + 税 / 2012 年 9 月 8 日刊
[写真] 窓 32 __ qp [小説] 見えない__柴崎友香 [建築] 窓のあつちとこち__中山英之



●No.2 **建築の持ち主**
A5 判 / モノクロ / 112 頁 / 1200 円 / 2011 年 12 月 1 日刊
[アンケート] 建築は誰のものか__石上純也、井上章一、大月敏雄、岡啓輔、小野田泰明、鯉井勇、篠原雅武、たかぎみ江、長田直之、中村良夫、馬場正尊、平山洋介、藤森照信 [年表] 近現代日本の建築と所有__長島明夫 [創作] 保留の場所__利部志徳 [インタビュー] 建築と所有__立岩真也 [写真] 人間の位置__qp [対談] <建てること>の射程__坂本一成 × 塚本由晴 [多木浩二氏追悼企画] 『生きられた家』再読__長谷川豪・能作文徳・長島明夫

●個人雑誌『建築と日常』：2009 年創刊。文学や写真、美術、映画など様々な表現ジャンルを横断しながら日常の地平で建築を捉える。No.0、No.1 完売